

# 首都直下地震における道路啓開の考え方(案)

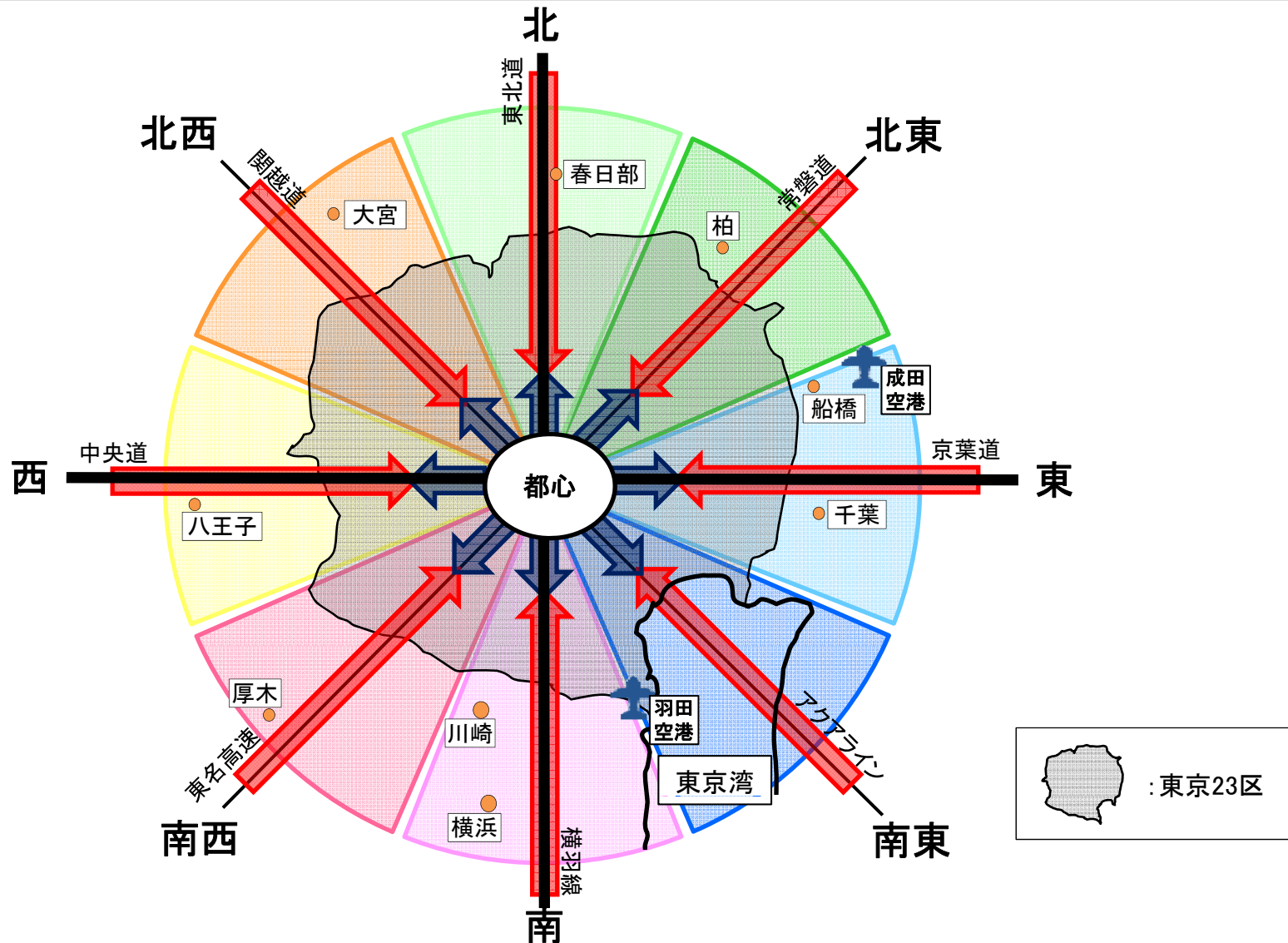
---

道路局・関東地方整備局

平成26年7月17日

# 1. 道路啓開路線イメージ①

- 都心を中心とする“8方位”毎に、高速道路(NEXCO、首都高)、国道を組み合わせながら、道路啓開ルートを設定。
- 都心へ向かう1車線及び都心からの1車線(合計2車線)を緊急に確保。



# 1. 道路啓開路線イメージ②【都心+8方位】

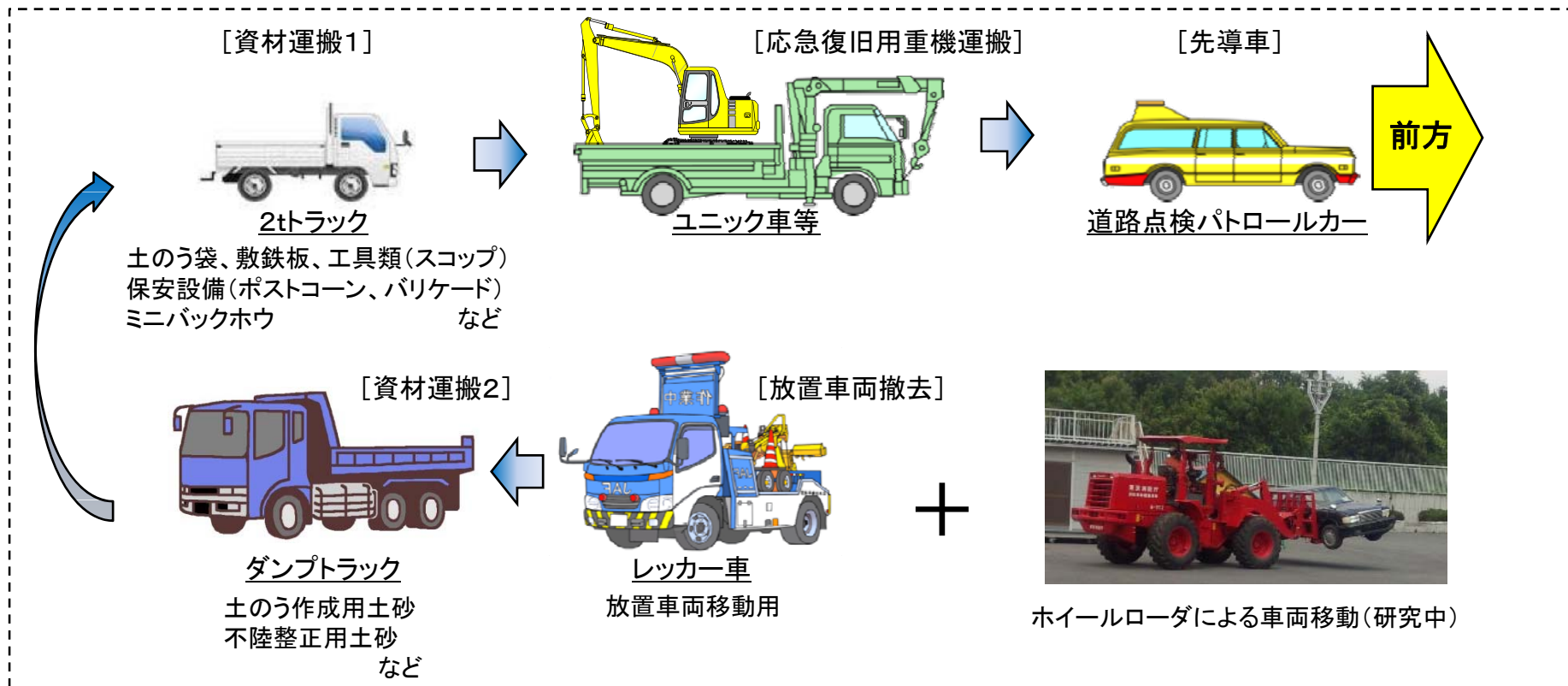
○最悪のケースを想定し、“8方位”毎に、緊急的に最低1路線を確保。

方位	対象路線(放射状)	啓開責任事務所※
都心	国道357号、国道15号、国道20号	東京国道事務所
南	首都高・横羽線、国道1号、国道15号	横浜国道事務所
南西	首都高・3号線、東名高速、第三京浜、国道246号	川崎国道事務所
西	首都高・4号線、中央道、国道20号	相武国道事務所
北西	首都高・5号線、関越道、国道254号、国道17号	大宮国道事務所
北	首都高・川口線、東北道、国道4号	北首都国道事務所
北東	首都高・6号線、常磐道、国道6号、国道14号	首都国道事務所
東	首都高・7号線、京葉道、国道357号	千葉国道事務所
南東	アクアライン	(NEXCO東日本)

※高速道路会社、東京都等と連携

## 2. 道路啓開作業(部隊編成)

○道路啓開実働部隊は、応急復旧および車両撤去の一団で構成



道路啓開実施部隊の隊列のイメージ

### 3. 今後の進め方

#### (1) 実効性のある道路啓開計画の策定

⇒道路管理者、関係機関からなる「首都直下地震啓開計画検討協議会」を設置し具体的な検討を開始(7月14日第1回開催)

【構成メンバー】

国土交通省、東京都、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)  
首都高速道路(株)、警察庁、警視庁、防衛省、陸上自衛隊、消防庁、  
東京消防庁

#### (2) 啓開計画のスパイラルアップ

⇒訓練による検証等を進めながら計画のスパイラルアップを図る

#### (3) 民間企業との連携

⇒民間企業(建設会社・レッカー会社等)と災害時の協定締結、車両移動技術の研究開発、資機材の確保等の準備を進める